

平成 28 年 10 月 17 日

各 位

上場会社名 日本トムソン株式会社
 代表者 取締役社長 宮地茂樹
 (コード番号 6480 東証第一部)
 問合せ責任者 取締役上席執行役員経営企画部長
 岡嶋徹
 (TEL. 03-3448-5868)

優必勝（上海）精密軸承製造有限公司の 持分の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 10 月 17 日開催の取締役会において、以下のとおり、優必勝（上海）精密軸承製造有限公司（以下「UBC 上海」といいます。）の持分を取得し、同社および同社子会社である優必勝（蘇州）軸承有限公司（以下「UBC 蘇州」といいます。）を子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 持分の取得の理由

当社グループは、針状ころ軸受および直動案内機器等（以下「軸受等」といいます。）ならびに諸機械部品の製造・販売事業を運営しており、軸受等の製造販売を通じて、グローバル市場で競争力と存在感のある企業を目指し、平成 27 年 4 月より「IKO 中期経営計画 2017 (CHANGE & CHALLENGE)」をスタートさせ、事業拡大を図っております。

一方、UBC 上海は、ボールベアリング、テーパローラーベアリング、シリンドリカルローラーベアリングなどの製造・販売事業を展開しております。同社は『UBC』ブランドによる各種ベアリングを中国国内のほか、世界 32 ヶ国に販売するネットワークを持ち、自動車、風力発電、ロボット、建設機械、鉄鋼メーカー等に提供しております。

また、上海近郊の常熟市に生産拠点（敷地面積 約 28,000 m²）を有する UBC 蘇州において、高精度ベアリングを生産し、『AXPB』ブランドで販売しております。

今後は、UBC グループとの協業を通じて、製品ラインアップの拡充を図るとともに、両社の販売ネットワークを活用したクロスセルによる拡販、共同調達によるコスト削減、リードタイム短縮や価格競争力強化に資する最適地生産の推進等、多岐にわたるシナジーの実現を期待しております。中国市場はもとより、グローバル市場での需要開拓を強化することにより、将来に向けた更なる成長戦略を加速させてまいります。

2. 異動する子会社の概要

・ UBC 上海

(1)	名 称	優必勝（上海）精密軸承製造有限公司
(2)	所 在 地	中華人民共和国 上海市
(3)	代表者の役職・氏名	Chairman Domingo So Penaloza
(4)	事 業 内 容	精密ベアリングおよび各種主力機械専用ベアリングの製造・販売
(5)	資 本 金	800 万米ドル
(6)	設 立 年 月 日	平成 16 年 8 月 3 日

・U B C 蘇州

- | | | | | | | |
|-----|-----------|------------------------------|---------------|-------------|---|------------------|
| (1) | 名 | 称 | 優必勝（蘇州）軸承有限公司 | | | |
| (2) | 所 | 在 | 地 | 中華人民共和国 江蘇省 | | |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | Chairman Domingo So Penaloza | | | | |
| (4) | 事業内容 | ベアリングの研究開発、製造、販売 | | | | |
| (5) | 資 | 本 | 金 | 7300 万元 | | |
| (6) | 設 | 立 | 年 | 月 | 日 | 平成 21 年 8 月 20 日 |

3. 取得持分、取得価額および取得前後の所有持分の状況

- | | | |
|-----|----------|-------------|
| (1) | 異動前の所有持分 | 議決権所有割合：0% |
| (2) | 取得持分 | 議決権所有割合：75% |
| (3) | 異動後の所有持分 | 議決権所有割合：75% |

(注) 取得の相手先および取得価額につきましては、相手先との合意により非公表とさせていただきます。なお、取得価額は、公平性・妥当性を確保するため、独立した第三者機関から入手した株式価値評価報告書を勘案し、決定しております。

4. 日程

- | | | |
|-----|---------|-------------------|
| (1) | 取締役会決議日 | 平成 28 年 10 月 17 日 |
| (2) | 契約締結日 | 平成 28 年 10 月 17 日 |
| (3) | 持分譲渡実行日 | 平成 29 年 1 月（予定） |

5. 今後の見通し

本件に伴う平成 29 年 3 月期の当社グループ業績に与える影響は現在精査中であり、今期業績への影響につきまして開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上